

EXERCISE 126

〔よりよい妊娠管理を目指して(その2)〕
Rh 不適合妊娠の管理およびその治療

Q 634 Rh(D)不適合妊娠で正しいのはどれか

1. Rh 陽性胎児血が0.1ml, Rh 陰性の妊婦に移行しても抗体の産生が起こりえる
 2. Rh 陽性赤血球1mlの中和には純粋な Rhlg 製剤20 μ g が対応する
 3. Rhlg 製剤の半減期は21から30日程度である
 4. わが国の Rhlg 製剤の抗体価は一瓶中1,000倍/2ml である
- a) 1 2 b) 2 3 c) 3 4 d) 1 3 4 e) 1 4 のすべて

Q 635 Rhlg 製剤の投与が不要と考えられているものはどれか

- a. 完全胞状奇胎
- b. 子宮外妊娠
- c. 常位胎盤早期剥離
- d. 妊婦の腹部外傷
- e. 前置胎盤

Q 636 Rh 陰性の母体に対して Rhlg 製剤投与の意味をもたない病態はどれか

1. Rh 陰性胎児を妊娠中の場合
 2. D 抗原に感作されている Rh 陰性の母体の場合
 3. Rh 陰性児を出産した場合
 4. 配偶者が Rh 陰性である場合
- a) 1 2 b) 2 3 c) 3 4 d) 1 3 4 e) 1 4 のすべて

Q 637 検査の組み合わせで正しいのはどれか

1. 母体.....直接クームス試験
 2. 出生児.....間接クームス試験
 3. 出生児.....直接クームス試験
 4. 母体.....間接クームス試験
- a) 1 2 b) 2 3 c) 3 4 d) 1 3 4 e) 1 4 のすべて

Q 638 未感作の Rh 陰性妊婦で Rh 陽性児を出生した場合, Rhlg 製剤の母体への投与は何時間以内が正しいのか

- a. 24時間以内
- b. 48時間以内
- c. 72時間以内
- d. 96時間以内